

部とかにわかれております。加熱炉部を私たちはちよつと見ましたけれども、あらゆる形式の炉の図面がたくさんありまして、厚いとじ込みになつておりました。

それから、この図書部には各国の本が集められており、それが実によく整理されておりました。

結局、リベットでありますと、ワイヤー部の部長（この部長というのが非常に知性豊かなソ連でも珍らしいきれいな女性でした）が何十人もの部下を使つて、積み重ねられた資料を使つて最も優れた最新鋭の工場の設計をすばやくやつていっているわけであります。ここは非常に特色がありまして、こういう研究所というのは、私たち日本のようないわゆる自由主義経済の国においては、まったく見られない特色のある研究所であります。このようないわゆる専門の設計研究所というのは、ソ連にたくさんあるわけであります。

先ほど私が、エレクトロ・スラグメルティング合同研究会につきましてもちよつと申しあげましたように、たとえば、ザポロージェに自動装置の研究所があるとか、あるいはザポロージェにやはり造機の研究所があるとか、あるいは動力の研究所があるとか、ようするに専門の研究所が方々にたくさんあるわけであります。日本ですと

一つの工場を建てる時、その工場で動力から立地条件まで全部まかなうわけですけれども、ソ連ではそういう専門のいわゆる実験室を持たない設計研究所がたくさんありまして、そこでいろいろおぜんだてをして、最も利潤の高い、新しい工場を作つてくれるようになっております。

最後にちよつと一言付け加えますと、ソ連では非常に女性の進出が大でありまして、ある研究所では300人から500人もの女性が働いているという現状です。これは一つは社会国家のモットーである「働かざるものは食うべからず」というそういう鉄則もありましようけれども、やはりソ連では第二次大戦で1,000万人以上の男子が死んだということが、一番大きな原因だと思います。またなお、現在膨大な男子を軍隊にとられて、どうしても女子がそれを穴埋めしなければならないということも、大きな原因だと思います。そのほかに、女性も男性と同等の給料が与えられますから、生活の向上という面で、女性が最近どんどん研究所あるいは工場に進出しているということです。これは日本でも是非学ばねばならないことだと思います。

日本工学会第14回見学会・講演会ご案内

日本工学会主催で、下記により見学会・講演会が催されますので、奮つて参加されるようご案内いたします。

第14回見学会

日 時 9月24日(金) 14:00~16:30
見学先 東京芝浦電気(株)中央研究所一川崎市小向東芝町1
(国電川崎駅東口発東急バス溝の口行にて約10分、東芝研究所前下車)
定 員 50名(先着順に参加証をお届けします。ただし同業者の見学はご遠慮下さい)
集 合 14:00 見学先正門
申 込 先 東京都港区芝琴平町35 造船協会内
日 本 工 学 会 (電 502-2049)

上記申込先に住所、氏名、所属学会名、勤務先を記入のうえ、9月15日までに申し込んで下さい。

講演会

日 時 9月25日(土) 14:00~16:00
会 場 発明会館ホール(東京都港区芝西久保明舟町17)
演 題 宇宙研究の現状 東京大学宇宙航空研究所 教授 糸川英夫氏
および講師
映 画 宇宙をさぐる、ほか